

日中対照言語学会員各位

日中対照言語学会の月例会(9月)を下記の通り開催いたします。どなたでも自由にご参加いただけますので、お誘いあわせのうえ多数ご来場くださいますようお願い申し上げます。

(日中対照言語学会事務局)

日中対照言語学会の月例会 (2018年9月)

日 時：2018年9月15日(土) 17:00~19:00

場 所：大東文化会館4階402

発表者：蘇秋韵(大東文化大学大学院中国言語文化研究科博士課程後期)

テーマ：『火花』における空間移動を表す“过”の日中対照研究

要 旨：本稿は空間移動を表す“过”が日本語での対応表現形式という問題について研究を行う。毛丹青が翻訳した『火花』を調査し、その中の“过”の例文を集め、空間移動を表す“过”の語例数を統計して、日本語と中国語には空間移動の特徴を分析した。空間移動のプロセスは起点・経路・着点で構成されるが、用いる空間移動動詞によって、焦点化(前景化)される部分が異なる。本稿は“过”とその移動空間に注目し、例えば、例(1)~(3)“过”の通過空間(経路)がそれぞれ“我身边”“右边练马立野邮电局”“我身边”であり、一方日本語の原文は「僕の横」「右手の練馬立野郵便局」「僕」である。例(3)の「僕」は中国語の“我身边”に訳した。管見によれば、日中両言語の空間認知方法における差異がその表現の違いの原因である。

- (1) 往常一直站在 Pink Salon 前拉客的男人，骑着自行车从我身旁掠过。
いつもピンサロの前に立っている呼び込みのお兄さんが、自転車僕の横を通り過ぎて行った。(329)
- (2) 当走过右边练马立野邮电局后，东方的天空已经泛白了。
右手の練馬立野郵便局を越えた辺りから東の空が白んできた。(337)
- (3) 从脚步声判断，神谷先生已从我身边走过，移步到了窗台。
神谷さんが僕を飛び越えて、窓際に移動するのが足音でわかった。(339)